

コンテンツの

取引市場形成について



～データベース議論の概観と、議論の進め方について～

1 取引市場データベースの議論の概観

(1) 起点の確認 ① 放送コンテンツの流通 → 米国、韓国、日本等の状況は？

■米国／テレビ番組ネット配信サービス

サービス名	AOL video	Amazon Unbox	Apple iTunes	ABC	CBS	FOX	NBC
ジャンル	ドラマ、音楽、アニメ、コメディ等	ドラマ、音楽、アニメ、コメディ等	ドラマ等	ドラマ、バラエティ等	ドラマ、バラエティ、アニメ、ニュース等	ドラマ、バラエティ等	ドラマ等
番組例	PRISON BREAK、24、Smith、the NINE、MTV等	PRISON BREAK、24、CSI、Survivor、Sleeper Cell、MTV等	PRISON BREAK、24、Desperate Housewives、LOST等	GREY'S ANATOMY、Desperate Housewives等	CSI、Survivor、Smith、Jericho等	PRISON BREAK、24、BONES等	Las Vegas、ER、Studio 60等
料金	1話 1.99ドル	1話 1.99ドル	1話 1.99ドル	無料	無料	無料	無料
配信形態	ダウンロード	ダウンロード	ダウンロード	ストリーミング	ストリーミング	ストリーミング	ストリーミング
番組のサイト掲載までの期間			翌日の例もあり	翌日	更新は、月曜から金曜の週5回		翌日

■韓国／MBC(地上波放送局)のネット配信戦略

Windowing戦略

- ① iMBCのVODサービス(≒catch-up TV)
- ② 3G携帯へのVODサービス
- ③ Internet PortalへのVODサービス
- ④ CableTVへの放送
- ⑤ DVDでの販売
- ⑥ アーカイブ的放送

Holdback戦略

- ① iMBC VOD→30分後
- ② 3G VOD→次の日の正午
- ③ Internet Portal VOD→24時間後
- ④ CableTV→1週間後(～2006年は24h後)
- ⑤ DVD→1ヶ月後
- ⑥ アーカイブ的放送→



■日本／主な映画会社のネット配信の例

社名 (サービス名)	配信作品数	料金 (視聴できる期間)	配信方法
松竹 (シネリエ)	86作品	367円 (1週間)	ストリーミング型など
東映 (ムービーサーカス)	257作品	367円 (1週間)	ストリーミング型など
日活	約100作品	315～420円 (24時間)	ストリーミング型など
ソニー・ ピクチャーズ	約500作品	315～420円 (48～72時間)	ダウンロード型など

「わが国では、貴重なデジタル・コンテンツの多くが利用されずに死蔵されている(例:過去のTV番組の再放送等が著しく制限)。インターネット上でデジタル・コンテンツを流通させるには、著作権、商標権、意匠権などの全ての権利者から事前に個別に許諾を得る必要があり、手続きコストがビジネス上見合わないためである。デジタル・コンテンツ市場を飛躍的に拡大させるため、世界最先端のデジタル・コンテンツ流通促進法制(全ての権利者からの事前の許諾に代替する、より簡便な手続き等)を2年以内に整備すべきである。」

(第4回経済財政諮問会議 民間議員説明資料「ITによる生産性の加速を実現するために」(2007年2月27日)より)
(知的財産戦略本部 コンテンツ・日本ブランド専門調査会 第2回コンテンツ企画ワーキング・グループ事務局資料(2007年11月9日)より)

1 取引市場データベースの議論の概観

(1) 起点の確認

② 基本的な考え方

(選択肢に関する指摘例)

・放送コンテンツの流通を促進するため、何らかの「制度」が必要ではないか。

(例)「事前の許諾に代替し得る簡便な手続」の制度が必要ではないか。

(例)コンテンツ製作に係る何らかの制度が必要ではないか。



← (海外と日本の状況の比較)

「民間主導による、トライアルをトリガーとした取引市場の創出」

「許諾権を前提とした、権利関連情報の集約、公開」



「取引市場データベースの構築」というアプローチは？

1 取引市場データベースの議論の概観

(2) 取引市場データベースに係るこれまでの主な論点

① 放送事業者が製作した放送コンテンツ

- 1) 「どのような市場」について、「誰」が、どのような「放送コンテンツ」を需要しているのか。ブロードバンド？国内番販？海外番販？
- 2) 上記の「市場」は、既存の放送コンテンツの市場と競合しないのか？
- 3) 一定のリスクとコストを負担して、市場の立ち上げを望む者はいるのか？現状の相対取引で十分ではないのか？
→「効果に見合ったコスト負担」＝「リスクとコストは負担しない」？



「放送コンテンツには、メジャー映画に匹敵する人気、売上がある。」



「MGがついて売れる可能性のあるコンテンツをDBに出すということは、収益機会の損失を自ら招く行為。」

「今の段階でブロードバンドのコンテンツ流通を否定するのではなく、可能性を検証するために前に進めるべき。」



「5000万世帯になるから儲かるといってもつかみどころがない。コスト負担の話がでてこない。」
「ニーズがあるなら相手を出し抜くべき。ビジネスモデルの提示がない。」

② 「取引市場」形成に資するものとして、他にどのようなオプションが考えられるか？

- 1) 番組製作者が著作権情報を持つ放送コンテンツに係るデータベースは考えられるか？
- 2) 現在稼働中の著作権関連データベースを連携させるデータベースは考えられるか？

2 今後の進め方

「許諾権を前提」、「民間主導」という考え方のもと、「権利情報の集約、公開の推進による取引市場形成」を具体化するには、以下の点の更なる検証が必要

(1) 「リスク」と「コスト」を負担して、取引市場の創設を希望する者がいるか？

- 「IPマルチキャスト放送事業者」に加え、「オープンネットワークを活用した事業者」等にニーズがあるのか？
- ニーズがなければ、官が関与して、「相対取引」の現状を変える必要があるか？

(2) 「取引市場データベース」のバリエーションの検証

- 番組製作者による「データベース」の可能性は？現在の取組は？
- 「連携」し得る、現在の権利情報データベースの取組は？

(3) 「取引市場データベース」に係る「トライアル」の選択肢の整理

- 「(流通を希望する)誰」の希望で？
- 「どのようなパターンのデータベース」を
- 「どのような役割分担で」行うのか。